

平成26年度 高知大学 出前公開講座

IN 大豊町

募集定員
-各クラス-
30名

日程：平成26年9月1日(月)～9月26日(金)
場所：大豊町農工センター文化ホール

受講料
1,200円

開講講座一覧

第1回：9月1日(月)
健康 午後6:00～7:45
(開講式含む)

「食を通じた健康づくり
～健康に長生きする
食生活を考える～」

高知大学副学長・地域連携推進センター長
高知大学総合科学系生命環境医学部門 教授
うけだ ひろゆき
受田 浩之

第2回：9月5日(金)
生活 午後6:00～7:30

「直販所を活用した
生きがい創出事業
---黒潮町の事例
を中心に」

高知大学 総合科学系
地域協働教育学部門 教授
すずき ひろゆき
鈴木 啓之

第3回：9月12日(金)
健康 午後6:00～7:30

「ゆずから得られる
美と健康」

高知大学地域連携推進センター
特任教授 [土佐 FBC]
さわむら まさよし
沢村 正義

第4回：9月19日(金)
地域振興 午後6:00～7:30

「大豊町の山の
未来を考える」

高知大学 自然科学系
農学部門 講師
まつもと みか
松本 美香

第5回：9月26日(金)
地域振興 午後6:00～7:45
(閉講式含む)

「ITで大豊町のファン
を創る!～全国から
支援をつなぐクラウド
ファンディング～」

高知大学地域連携推進センター 特任助教
高知大学地域コーディネーター [UBC]
かじ ひでき
梶 英樹



申し込み日 平成26年8月22日(金)まで
申し込み先 大豊町教育委員会 (TEL 0887-72-0458)

※当日の参加も可能ですが、できるだけ事前にお申し込み下さい。
主催：高知大学地域連携推進センター域学連携推進部門／共催：大豊町教育委員会

受講される方には
テキストを配布し、
3回以上出席された
方には修了証書を
授与します。

講座題目・講師一覧

開催日	時間	講座の内容と講師								
第1回 9月1日 (月)	18:00~ 18:15	開 講 式								
	18:15 ~ 19:45	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">題目</td> <td>食を通じた健康づくり～健康に長生きする食生活を考える～</td> <td style="width: 20%;">講師</td> <td>受田 浩之</td> </tr> <tr> <td>【内容】</td> <td colspan="3">歴史上の有名人が何歳まで生きたのか、寿命と職業との間にどのような関係が見られるのかを話題に、豊かな食生活を通じて健康に長生きするライフスタイルを考えてみます。さらに、国が健康の維持に効果があるとお墨付きを与えている「特定保健用食品」について、その意義と有効性をご紹介しますと共に、国が進めている新たな機能性表示のあらましについてお話しします。講座の最後には、大豊町の誇る地域ブランドである「碁石茶」について、最新の研究成果をご紹介しますと考えています。</td> </tr> </table>	題目	食を通じた健康づくり～健康に長生きする食生活を考える～	講師	受田 浩之	【内容】	歴史上の有名人が何歳まで生きたのか、寿命と職業との間にどのような関係が見られるのかを話題に、豊かな食生活を通じて健康に長生きするライフスタイルを考えてみます。さらに、国が健康の維持に効果があるとお墨付きを与えている「特定保健用食品」について、その意義と有効性をご紹介しますと共に、国が進めている新たな機能性表示のあらましについてお話しします。講座の最後には、大豊町の誇る地域ブランドである「碁石茶」について、最新の研究成果をご紹介しますと考えています。		
題目	食を通じた健康づくり～健康に長生きする食生活を考える～	講師	受田 浩之							
【内容】	歴史上の有名人が何歳まで生きたのか、寿命と職業との間にどのような関係が見られるのかを話題に、豊かな食生活を通じて健康に長生きするライフスタイルを考えてみます。さらに、国が健康の維持に効果があるとお墨付きを与えている「特定保健用食品」について、その意義と有効性をご紹介しますと共に、国が進めている新たな機能性表示のあらましについてお話しします。講座の最後には、大豊町の誇る地域ブランドである「碁石茶」について、最新の研究成果をご紹介しますと考えています。									
第2回 9月5日 (金)	18:00 ~ 19:30	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">題目</td> <td>直販所を活用した生きがい創出事業——黒潮町の事例を中心に</td> <td style="width: 20%;">講師</td> <td>鈴木 啓之</td> </tr> <tr> <td>【内容】</td> <td colspan="3">鈴木研究室と公益社団法人高知県自治研究センターは、2006年度から2010年度までの5年間、黒潮町において、「農産物直販所を活用した高齢者の生きがい創出のための仕組みづくり」の実証実験に取り組みました。通常、農産物の直販所は、出荷を生産者自身に行わせています。しかし、中山間地域に住む高齢の生産者は、交通手段にめぐまれておらず、出荷をやめていく例が後を絶ちません。そこで、集出荷を小額の手数料で担う「コミュニティビジネス」として実施できないかと考え、実証実験を行いました（その後、町の補助事業になりました）。この取り組みの経験や、研究のプロセスについて紹介したいと思います。</td> </tr> </table>	題目	直販所を活用した生きがい創出事業——黒潮町の事例を中心に	講師	鈴木 啓之	【内容】	鈴木研究室と公益社団法人高知県自治研究センターは、2006年度から2010年度までの5年間、黒潮町において、「農産物直販所を活用した高齢者の生きがい創出のための仕組みづくり」の実証実験に取り組みました。通常、農産物の直販所は、出荷を生産者自身に行わせています。しかし、中山間地域に住む高齢の生産者は、交通手段にめぐまれておらず、出荷をやめていく例が後を絶ちません。そこで、集出荷を小額の手数料で担う「コミュニティビジネス」として実施できないかと考え、実証実験を行いました（その後、町の補助事業になりました）。この取り組みの経験や、研究のプロセスについて紹介したいと思います。		
	題目	直販所を活用した生きがい創出事業——黒潮町の事例を中心に	講師	鈴木 啓之						
【内容】	鈴木研究室と公益社団法人高知県自治研究センターは、2006年度から2010年度までの5年間、黒潮町において、「農産物直販所を活用した高齢者の生きがい創出のための仕組みづくり」の実証実験に取り組みました。通常、農産物の直販所は、出荷を生産者自身に行わせています。しかし、中山間地域に住む高齢の生産者は、交通手段にめぐまれておらず、出荷をやめていく例が後を絶ちません。そこで、集出荷を小額の手数料で担う「コミュニティビジネス」として実施できないかと考え、実証実験を行いました（その後、町の補助事業になりました）。この取り組みの経験や、研究のプロセスについて紹介したいと思います。									
第3回 9月12日 (金)	18:00 ~ 19:30	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">題目</td> <td>ゆずから得られる美と健康</td> <td style="width: 20%;">講師</td> <td>沢村 正義</td> </tr> <tr> <td>【内容】</td> <td colspan="3">高知県のゆず生産量は全国第一位で全生産量の約50%を占めています。ゆずは比較的耐寒性が強いことから中山間地が主な産地となっています。このためゆずは山間部農村にとって経済的に重要な自然の恵みでもあります。収穫最盛期の11月、ゆずの加工施設のある地域一帯にはゆずの芳香が漂っています。昔から、ゆず産地の住民は肌が美しく風邪もひきにくいと言われてきました。その疫学的根拠はまだありません。しかし、ゆずの果汁、果皮、種子には健康に有用な成分が豊富に含まれており、少なくともその成分が、疾病予防、美肌効果の要因になっていると考えられます。ゆずのもつパワーを再認識することは、ゆず資源の有効利用、付加価値の増大にもつながると考えます。</td> </tr> </table>	題目	ゆずから得られる美と健康	講師	沢村 正義	【内容】	高知県のゆず生産量は全国第一位で全生産量の約50%を占めています。ゆずは比較的耐寒性が強いことから中山間地が主な産地となっています。このためゆずは山間部農村にとって経済的に重要な自然の恵みでもあります。収穫最盛期の11月、ゆずの加工施設のある地域一帯にはゆずの芳香が漂っています。昔から、ゆず産地の住民は肌が美しく風邪もひきにくいと言われてきました。その疫学的根拠はまだありません。しかし、ゆずの果汁、果皮、種子には健康に有用な成分が豊富に含まれており、少なくともその成分が、疾病予防、美肌効果の要因になっていると考えられます。ゆずのもつパワーを再認識することは、ゆず資源の有効利用、付加価値の増大にもつながると考えます。		
	題目	ゆずから得られる美と健康	講師	沢村 正義						
【内容】	高知県のゆず生産量は全国第一位で全生産量の約50%を占めています。ゆずは比較的耐寒性が強いことから中山間地が主な産地となっています。このためゆずは山間部農村にとって経済的に重要な自然の恵みでもあります。収穫最盛期の11月、ゆずの加工施設のある地域一帯にはゆずの芳香が漂っています。昔から、ゆず産地の住民は肌が美しく風邪もひきにくいと言われてきました。その疫学的根拠はまだありません。しかし、ゆずの果汁、果皮、種子には健康に有用な成分が豊富に含まれており、少なくともその成分が、疾病予防、美肌効果の要因になっていると考えられます。ゆずのもつパワーを再認識することは、ゆず資源の有効利用、付加価値の増大にもつながると考えます。									
第4回 9月19日 (金)	18:00 ~ 19:30	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">題目</td> <td>大豊町の山の未来を考える</td> <td style="width: 20%;">講師</td> <td>松本 美香</td> </tr> <tr> <td>【内容】</td> <td colspan="3">四国山地の中央部に位置する大豊町には、27,778haに及ぶ森林が広がっています。これら森林の多くは民有林で、大半が戦後の拡大造林政策の下でほぼ同時期に植栽された杉や桧の人工林でもあります。植林後60年程を経過した木々たちは収穫期を迎えたとされ、その活用に注目が集まっています。他方で、町内には、民間事業体や森林組合といった素材生産の担い手や、高知県森林組合連合会の原木共販所があり、製材加工に関しても既存の製材工場に大規模製材所が加わり、他地域に比べて非常に強力な木材流通構造があります。森林資源の変化、そして原木需要が大きく変化しつつあるなかで、大豊町の山の今、そして未来をどう考えるのか、森林林業を取り巻く環境も交えながら皆さんと考えてみたいと思います。</td> </tr> </table>	題目	大豊町の山の未来を考える	講師	松本 美香	【内容】	四国山地の中央部に位置する大豊町には、27,778haに及ぶ森林が広がっています。これら森林の多くは民有林で、大半が戦後の拡大造林政策の下でほぼ同時期に植栽された杉や桧の人工林でもあります。植林後60年程を経過した木々たちは収穫期を迎えたとされ、その活用に注目が集まっています。他方で、町内には、民間事業体や森林組合といった素材生産の担い手や、高知県森林組合連合会の原木共販所があり、製材加工に関しても既存の製材工場に大規模製材所が加わり、他地域に比べて非常に強力な木材流通構造があります。森林資源の変化、そして原木需要が大きく変化しつつあるなかで、大豊町の山の今、そして未来をどう考えるのか、森林林業を取り巻く環境も交えながら皆さんと考えてみたいと思います。		
	題目	大豊町の山の未来を考える	講師	松本 美香						
【内容】	四国山地の中央部に位置する大豊町には、27,778haに及ぶ森林が広がっています。これら森林の多くは民有林で、大半が戦後の拡大造林政策の下でほぼ同時期に植栽された杉や桧の人工林でもあります。植林後60年程を経過した木々たちは収穫期を迎えたとされ、その活用に注目が集まっています。他方で、町内には、民間事業体や森林組合といった素材生産の担い手や、高知県森林組合連合会の原木共販所があり、製材加工に関しても既存の製材工場に大規模製材所が加わり、他地域に比べて非常に強力な木材流通構造があります。森林資源の変化、そして原木需要が大きく変化しつつあるなかで、大豊町の山の今、そして未来をどう考えるのか、森林林業を取り巻く環境も交えながら皆さんと考えてみたいと思います。									
第5回 9月26日 (金)	18:00 ~ 19:30	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">題目</td> <td>ITで大豊町のファンを創る！ ～全国から支援をつなぐクラウドファンディング～</td> <td style="width: 20%;">講師</td> <td>梶 英樹</td> </tr> <tr> <td>【内容】</td> <td colspan="3">IT技術の進歩は人々の様々なコミュニケーションのかたちを発展させています。地域活性化へ志を持つ方と、その思いに共感し応援したいという全国の人がつながり合って一緒にその発展に貢献するソーシャルなコミュニケーションも急拡大しています。その中でここ数年、クラウドファンディングという仕組みが全国的に注目されています。これはインターネットを活用し、地域住民が産業、観光、交流などの地域における自発的な取り組みを発信し、全国の不特定多数の方がその活動に賛同し寄付の提供や協力をを行う仕組みです。大豊町の魅力をクラウドファンディングを使って発信し全国の多くのファンをつくり地域を支える可能性について考えていきたいと思います。</td> </tr> </table>	題目	ITで大豊町のファンを創る！ ～全国から支援をつなぐクラウドファンディング～	講師	梶 英樹	【内容】	IT技術の進歩は人々の様々なコミュニケーションのかたちを発展させています。地域活性化へ志を持つ方と、その思いに共感し応援したいという全国の人がつながり合って一緒にその発展に貢献するソーシャルなコミュニケーションも急拡大しています。その中でここ数年、クラウドファンディングという仕組みが全国的に注目されています。これはインターネットを活用し、地域住民が産業、観光、交流などの地域における自発的な取り組みを発信し、全国の不特定多数の方がその活動に賛同し寄付の提供や協力をを行う仕組みです。大豊町の魅力をクラウドファンディングを使って発信し全国の多くのファンをつくり地域を支える可能性について考えていきたいと思います。		
	題目	ITで大豊町のファンを創る！ ～全国から支援をつなぐクラウドファンディング～	講師	梶 英樹						
	【内容】	IT技術の進歩は人々の様々なコミュニケーションのかたちを発展させています。地域活性化へ志を持つ方と、その思いに共感し応援したいという全国の人がつながり合って一緒にその発展に貢献するソーシャルなコミュニケーションも急拡大しています。その中でここ数年、クラウドファンディングという仕組みが全国的に注目されています。これはインターネットを活用し、地域住民が産業、観光、交流などの地域における自発的な取り組みを発信し、全国の不特定多数の方がその活動に賛同し寄付の提供や協力をを行う仕組みです。大豊町の魅力をクラウドファンディングを使って発信し全国の多くのファンをつくり地域を支える可能性について考えていきたいと思います。								
19:30~ 19:45	閉 講 式 (修了証書授与)									

— ご 案 内 —

高知大学ラジオ番組

『 THE こうちユニバーシティ CLUB 』

～毎週日曜日 休日の朝のひととき
【 9時半からの25分間 】ぜひお楽しみ下さい。～

“THE こうちユニバーシティ CLUB”では、学生、教職員、OB・OG、保護者、そして高知大学の総大なるサポーターである地域の皆様それぞれの目線で、高知大学が行っている教育、研究、地域貢献、また未来を創造する人材の育成、地域の皆様方との触れ合いについてお伝えします。

HISIX FM 高知 <http://www.fmkochi.com/>

**高知大学地域連携推進センター、
域学連携推進部門では、いろいろな学習の場
を提供しています。
なんでもお気軽にご相談下さい。**



お問合せ先: 高知大学 地域連携推進センター 域学連携推進部門
 連絡先 : TEL 088-844-8454 / FAX 088-844-8556
 E-mail : kokaikoza@kochi-u.ac.jp
 HP URL : <http://www.kochi-u.ac.jp/~wwwlife/index.html>

